

東海学生アメリカンフットボール連盟
2021新型コロナウイルス感染対策 ガイドライン

【 公式戦開催時 】

東海学生アメリカンフットボール連盟
安全対策部

基本事項	
3密を避ける	密閉空間、密集場所、密接場面 を避ける。 これら3つの要素の内の、少なくとも1つ以上を排除すること。
マスクの着用	必ずマスク（又は同等の効果がある物）を着用すること。 人が集まる場所、人と対面する場合など他人と近接する可能性がある場合は、必ずマスクを着用すること。
手指の消毒・手洗い	外出の前後、施設への入退場時、不特定多数の触れる部分に触った後は必ず手指の消毒・手洗いを行うこと。
体調管理	検温を毎日行うこと。 規則正しい生活を送ること。 体調に異変を感じた場合は、外出・他人との接触はしないこと。 体調不良が続く場合は、学内保険センター、かかりつけ医、保健所等に相談すること。
感染予防・確認	新型コロナウイルス接触確認アプリを活用してください。

試合会場への入場が認められる者
東海学生アメリカンフットボール連盟に2021年の役員・選手・チームスタッフとして登録されている者の内 下記の者。
東海連盟役員・審判員 試合校選手・スタッフ 設営校選手・スタッフ スカウティング要員（1大学3名まで。氏名及び連絡先を指定の用紙に記入する。） *全て東海連盟発行の役員証・選手証・登録証を携帯すること。 携帯しない者は入場できない。
東海連盟登録外で入場が認められる者
ゲームドクター 東海連盟指定のカメラマン 1名 東海連盟が入場を許可した者（ただし、氏名及び連絡先を指定の用紙に記入する。）
観客の入場
1. 無観客の場合 一切の一般人を観客席に入れない。
2. 無観客（見学者あり）の場合 試合参加者の保護者及び試合校の監督・コーチの親族を見学者として入場を認める。ただし、人数を制限する。 見学者全員の氏名、連絡先を指定の用紙に記入する。
3. 観客を入れる場合 一般の観客者を受け入れる。ただし、会場収容人員の1/2以下とする。 観客全員の氏名、連絡先を指定の用紙に記入する。

会場に来るまで

体調管理

理事役員・選手・スタッフは毎日体温測定・体調確認を行う。
風邪と同様の諸症状、味覚・嗅覚異常の有無を確認する。
試合当日の出発前にも体温測定・体調確認を行う。
異常が認められた場合は来場を控え、自宅待機とする。

役員	
専任監理者を置く	感染対策担当理事を置く。感染対策に関する全てを監理する。
感染対策担当理事	<p>関係者入場時の体温測定、手指消毒、登録証確認を行う。入場の資格があることを確認する。</p> <p>必要と思われる場合は、氏名・連絡先等の記入を求める。</p> <p>体温測定者等関係者受付で入場者に対応する者には、感染対策のための装具（マスク、フェイスシールド、手袋）を着用させる。</p> <p>体温が37.5℃以上ある者には、専用書類に必要事項を記入させ帰宅を指示する。</p> <p>37.5℃に近い場合には、当該者にしばらくの間待機を指示し、一定時間後改めて体温測定を行う。</p> <p>感染対策備品が配置場所に適切に配置されているか確認する。その備品の使用方法・使用箇所等を指示する。</p> <p>試合校に対し、練習中・試合中共に感染対策に不備がないか注視する。</p> <p>設営校が行う感染対策に不備がないか注視する。</p> <p>試合会場の、不特定多数が触れる部分を、定期的に消毒するよう設営校に指示する。</p>
	見学者がいる場合
	<p>提出された見学者名簿を保管する。</p> <p>感染対策事項を遵守しているか確認する。</p>
	観戦者がいる場合
	<p>観戦者名簿を保管する。</p> <p>入場の前に、体温測定・手指消毒・体調確認を行う。</p> <p>感染対策事項を遵守しているか確認する。</p>
常任理事・理事	<p>常時マスク着用とする。</p> <p>入場時には体温測定・手指消毒を行う。</p> <p>感染対策担当理事を補佐する。</p>

審判員	<p>常時マスク着用とする。</p> <p>入場時には体温測定・手指消毒を行う。</p> <p>試合で使用するホイッスルは、電子ホイッスルを使用する。</p> <p>ピンマイク等共用する備品を使用前後に消毒する。</p> <p>試合中の給水ボトルは各々専用ボトルを準備し、特定審判員が管理しグラウンド内への搬入・搬出を行う。</p> <p>手指消毒用のアルコールスプレーを用意する。給水ボトルと管理を同じくし、給水時に手指の消毒を行う。</p> <p>控室にアルコール消毒用ポンプを用意する。入退出時に手指消毒を行う。</p>
-----	---

会場入場校	
会場到着後	
入場時	<p>マスク着用。選手以外は試合中を含め常時マスク着用とする。</p> <p>入場時には体温測定・手指消毒を行う。</p> <p>体温測定時に並ぶ時は、マスク着用の上各々 1m の間隔を取る</p> <p>監督等関係者スタッフも体温測定を行い入場する</p> <p>*発熱があるものは、所定用紙に記録をして即帰宅する</p> <p>10日程度様子を見る。</p> <p>症状が増えた、ひどくなったら病院・保健所に連絡して相談する。</p>
以後 退出まで感染防止の基本事項を徹底する。	
退場	<p>更衣終了、消毒完了後は直ちに会場から離れること。</p> <p>会場周辺に滞留することの無いようにする。</p> <p>試合観戦も行わないこと。</p>

感染発生時	
感染が疑われる者が発生した場合（症状発症者）	
本人	<p>チーム責任者に直ちに連絡する。</p> <p>自宅待機とし、体調確認を行う。</p> <p>症状がなくなった後10日程度様子を見て、新たに症状が出なければ練習復帰する。</p> <p>症状が続く場合は、大学保健センター・かかりつけ医・保健所等に連絡し指示を仰ぐ。</p>
チーム	<p>本人の体調確認を逐次行う。</p> <p>接触のあった選手等は、体調に十分注意する。</p>
感染が疑われる者が発生した場合（濃厚接触者）	
本人	<p>チーム責任者に直ちに連絡する。</p> <p>自宅待機とし、保健所等の指示に従う。</p>
チーム	<p>活動を一時中止し、速やかに大学当局、東海連盟に報告をする。</p> <p>大学当局の指示に従う。</p> <p>チーム内での接触者を確認し、濃厚接触者のPCR検査の結果が出るまで自宅待機とする。</p>
感染者が出た場合(PCR陽性者)	
本人	<p>チーム責任者に直ちに連絡する。</p> <p>保健所等の指示に従う。</p>
チーム	<p>活動を停止し、速やかに大学当局、東海連盟に報告する。</p> <p>全員自宅・下宿待機とし、体調確認を逐次行う。</p> <p>濃厚接触者には保健所等の指示に従い、検査を受けさせる。</p> <p>大学当局、保健所等の指示に従い感染拡大を防ぐ。</p>
試合後感染者が出た場合(PCR陽性者)	
当該校	<p>試合後（公式戦、練習試合問わず）10日以内に感染者が発生した場合は、大学当局、東海連盟と共に対戦校に連絡する。その際には、当該選手のNo.、ポジションを伝える。</p>
対戦校	<p>感染者の報告を受けた場合は、濃厚接触者の可能性がある者を保健所等に連絡し、その後の指示を仰ぐ。</p> <p>活動を停止し、速やかに大学当局、東海連盟に報告する。</p> <p>全員自宅・下宿待機とし、体調確認を逐次行う。</p>